

公立病院改革プランの主な内容及び進捗状況の評価(平成21年度実績)

区分	項目	平成21年度		目標達成のための取り組み及び状況	病院総括	委員会の評価・意見等	
		目標値	実績値				
収支状況	経常収益(百万円)	1,301	1,479	○ +178百万円	・経常収支比率及び職員給与比率及び病床利用率については、目標値を達成できている。 ・平成20年11月に増築工事が完了し病床90床が1年間稼働した。 ・外来患者の院外処方も完全実施した。 ・一般会計からの繰入金が5億5千万円であった。 ・一時借入金は毎年度減少し、平成21年度は2億円であった。	・目標値より実績値が効率よく上回っている。 ・一般会計からの繰入金について、交付税基準外の繰入金額の減少に努められたい。 ・志摩地域の医療を守る重要な施設になるので、さらなる経営効率に努めていただきたい。	
	経常費用(百万円)	1,532	1,506	○ -26百万円			
	経常損益(百万円)	▲231	▲27	○ -204百万円			
	資金不足比率(%)	健全化法	24.3	2.4			○ -21.9%
		地財法	24.3	2.4			○ -21.9%
経営効率化に係る計画	経常収支比率(%)	84.9	98.2	○ +13.3%			
	職員給与比率(%)	88.0	87.5	○ -0.5%			
	病床利用率(%)	80.0	81.1	○ +1.1%			
	経常収支黒字化目標年度	平成25年度	—	平成23年度			
	公立病院改革プラン最終年度	—	—	平成23年度			
再編・ネットワーク化に係る計画	再編・ネットワーク化の状況	—	—	実施済	・志摩市立前島病院と志摩市立大王病院を統合し、平成20年4月1日から志摩市民病院となり、志摩市立前島病院は、志摩市立前島診療所として再生し、指定管理者へ運営委託した。	・平成20年4月1日に志摩市民病院の統合と前島診療所の指定管理者への運営委託を完了している。	
	再編・ネットワーク化の結論の取りまとめ(予定)時期	—	—	平成20年4月1日			
	再編・ネットワーク化の具体的な内容	—	—	志摩市立前島病院と志摩市立大王病院を統合し、平成20年4月1日から志摩市民病院となり、志摩市立前島病院は、志摩市立前島診療所として再生し、指定管理者へ運営委託した。			
経営形態に係る計画見直しに	経営形態の現況	—	—	一部適用	・平成20年4月に前島診療所の指定管理制度を導入した。 ・指定管理委託料は、年3千万円で平成20年度～平成29年度の10年間である。	・経営形態は、指定管理委託終了の時期に再度実施する。	
	経営形態見直しの検討体制	—	—	志摩市立国民健康保険病院運営協議会			
	経営形態の見直し時期	—	—	平成30年度			
	指定管理者制度	—	—	実施済			